

信頼される学校であるための行動計画

令和4年4月
三重県立神戸高等学校

1 生徒・地域・保護者に信頼される開かれた学校づくりをすすめます

- ・鈴鹿地域における唯一の進学伝統校として、生徒・保護者のニーズや地域の期待に応えることのできる学校、真に必要とされる学校を目指します。
- ・そのために、中学生向け学校説明会や校内での生徒面談、保護者会、学校関係者評価委員会などを通して、本校に対する期待、要望に真摯に耳を傾け、不易流行の精神で学校経営を進めます。
- ・一方で、Classi や HP を活用し、発信力をさらに強化することを、保護者や地域への「学校の見える化」を推進します。
- ・また、地域の全ての中学校に対しても本校の魅力や今後の方向性を、より丁寧に説明します。

2 職員のコンプライアンス意識を高めます

- ・各職員(非常勤講師含む)との年間 3 回の校長との面談時に服務規律やコンプライアンスについての意見交換を行います。
- ・定例の企画委員会や職員会議時には、県内で発生したコンプライアンス違反の具体事例を挙げるなど、より個々の問題ととらえられるよう効果的に注意喚起します。
- ・体罰、セクハラ・パワハラ、及び飲酒運転の根絶、公務の適正処理、その他法令遵守を目指し、定期的に(年 3 回程度)セルフチェックを実施します。
- ・全体でのコンプライアンスミーティングに加え、各分掌、学年単位でのコンプライアンスミーティングを実施します。

3 風通しが良く、働きがいのある学校職場をめざします

- ・教育改革推進委員会を立ち上げ、全ての職員がやる気とやりがいをもって働ける職場についての議論を進めます。
- ・「おたがいさま」の気持ちをもって職員同士が思いやりをもって気持ちよく助け合える職場風土を醸成します。
- ・年度末において、職員に対する年度末総括のアンケートを実施し、丁寧に職員の意見をくみ上げ、できることから改善に結びつけます。